



シ・ア・ワ・セ

● 特集 ● 平成22年多久市成人式

# おめでとう! 20歳

## 自分の力を信じてチャレンジを!!

平成生まれが  
大人の仲間入り

平成22年多久市成人式(多久市、多久市教育委員会主催)を1月3日、中央公民館で開きました。  
華やかな振袖や羽織袴、真新しいスーツに身を包み集った若者が大人への門出の祝福を受け、決意を新たに社会人としての第一歩を踏み出しました。

今日を祝ってカンパシー!



この日、成人式を迎えたのは、平成元年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた261人。うち、228人が出席しました。

会場では式典の前に、『20 for you』と題したメモリアルビデオを放映。20年間の世の中の出来事を映像で振り返り、小・中学校時代の懐かしい姿が学校ごとに映し出されると会場は、割れんばかりの歓声に包まれました。

式典が始まると、横尾市長が成人の年齢を迎えた意味や役割を伝え、「みなさんは未来をつくる希望であり、家族にとってかけがえのない希望です。そして、自分に与えられた力や可能性を信じてチャレンジしてください。大切な時間をどう使うかで、人生の深さや高さ、感激や喜びが決まります。今日があることは尊いこと、貴重なことで、感謝を忘れず、大きな希望をもって頑張っていたきたいと思えます。ご家族や仲間とともにすばらしい未来を作っていただけることを願います」などとエールを贈りました。

牛島市議会議長も新成人に期待を込め「何を希望とし、

何を望んで生活し、いかに生きるか、今日しっかり腹に据えて考えてもらいたいと思います。厳しくとも、くじけず、あきらめず、こつこつと努力を重ね、社会にも恩返しできるように、大きくはばたいてください」などと激励しました。この後、3人の新成人が代表で誓いのことばを述べると、会場の一人ひとりも思いを重ねていました。

式典後は、今回から取り入れた中学校区毎の記念写真撮影があり、希望を胸に決意を新たにしたり晴れやかな瞬間を写真におさめていました。

成人とは、保護者の手を離れ、自分の意思で人生を歩み出すスタートであり、社会的な権利を手に入れるとともに、義務と責任を負うこと。成人式は、その宣誓の儀式。多久市では、県内でもいち早く、新年の帰省に合わせて行っています。

なつかしい友と久々の再会を喜び合った出席者は、時間が経つのも忘れ、写真を取り合ったり、連絡先を交換したり、思い出話に花を咲かせたりしながら、成人としての想いを新たにしていました。